

製品名: EDG-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10298**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	LPAR1
別名	LPAR1; EDG2; LPA1; Lysophosphatidic acid receptor 1; LPA receptor 1; LPA-1; Lysophosphatidic acid receptor Edg-2
遺伝子 ID	1902.0
SwissProt ID	Q92633
免疫原	抗血清はヒト EDG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 5-54

背景

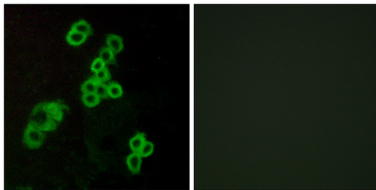
リゾホスファチジン酸受容体 1 (LPAR1) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされる膜貫通タンパク質は、EDG 受容体として

知られるグループに属するリゾホスファチジン酸 (LPA) 受容体です。これらの受容体は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーに属します。LPA によって細胞シグナル伝達に利用される EDG 受容体は、増殖、血小板凝集、平滑筋収縮、神経芽細胞腫の分化抑制、走化性、腫瘍細胞浸潤など、多様な生物学的機能を媒介します。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 2 つの転写バリエーションが同定されています (RefSeq 提供、2008 年 7 月)。機能: 多様な細胞活動の媒介因子であるリゾホスファチジン酸 (LPA) の受容体。ヘテロ多価 G タンパク質の G(i)/G(o)、G(12)/G(13)、および G(q)ファミリーと共役していると考えられる。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳、心臓、結腸、小腸、胎盤、前立腺、卵巣、膵臓、精巣、脾臓、骨格筋、腎臓など、多くの成人臓器で発現する。肝臓、肺、胸腺、末梢白血球ではほとんど発現しないか、全く発現しない。

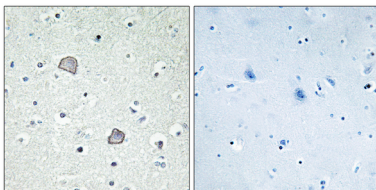
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;ギャップ結合;

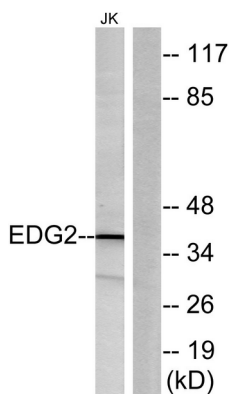
画像データ



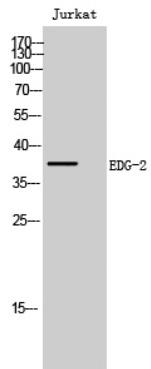
EDG2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



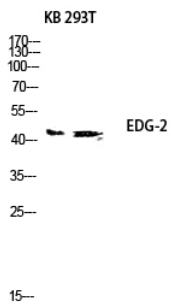
EDG2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



EDG2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



EDG-2 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析



EDG-2 抗体を用いた KB 293T の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。